

つばた

議会だより

No.149

2019.4.5

3月会議

安心と豊かさあふれるまちづくりに	2
クローズアップ JA新ライスセンター整備に補助金	6
ここが聞きたい!予算審議 選挙投票日町営バス無料化は必要か	8
いっぱい質問 児童虐待防止への対応はなど 11人が登壇	14

思い出を胸に
(萩野台小学校)

表紙写真撮影：議会広報調査特別委員 森川 章

安心と豊かさあふれる

まちづくり



役場 新庁舎の
建設に着手
3億7408万円

3月会議を4日から13日までの会議期間で開催した。
初日に平成31年度一般会計・特別会計・事業会計予算、30年度補正予算、条例の制定・改正など38件の議案が提出され、2日目に町政全般について11人が一般質問を行った。
議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決し、請願2件を採択、3件を不採択、陳情1件を不採択、意見書1件を可決した。
続いて、教育委員会教育長の任命、固定資産評価員の選任について同意した。



**屋内温水プール整備へ
基本設計・測量を実施
2846万円**

▲建設予定地の住吉公園

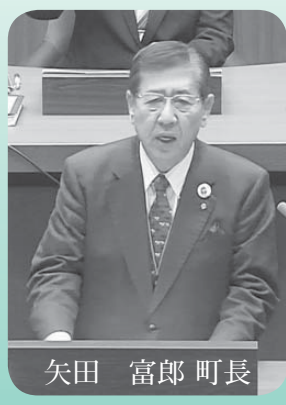


**子ども医療給付費
対象を18歳までに拡大
1億360万円**

▲ふわふわドームで遊ぶ
子どもたち

飛躍する津幡町、 未来の津幡町に向けてのスタート元年に

平成31年度
施政方針



矢田 富郎 町長

『子の世代、孫の世代のためのまちづくり・心豊かに今を暮らすためのまちづくり』
役場新庁舎の建設や体験型観光交流公園、屋内温水プール、河合谷小中学校跡地の宿泊体験交流施設の整備、IRいしかわ鉄道津幡駅東口の整備と新駅設置など、これまで着実に進めてきた施策を形として実現させていきたい。
また、子育て支援や教育環境の整備、地域活性化対策など、暮らしに直接結びつく取り組みを、きめ細やかに、効果的に行っていく。

一般会計 前年度比9.4%増

民生費



▲平成31年4月から病後児保育を実施 (寺尾保育園)

高齢者や児童福祉、保育園の運営など

町債として借りたお金の返済など

新庁舎建設などのため
前年度比 24.4%

戸籍や選挙、徴税など

文化会館シグナス改修などのため
前年度比 16.1%

給食や小中学校、スポーツ施設の維持管理など

大型農業用施設整備などのため
前年度比 136.4%

農業振興や有害鳥獣対策など

商工費



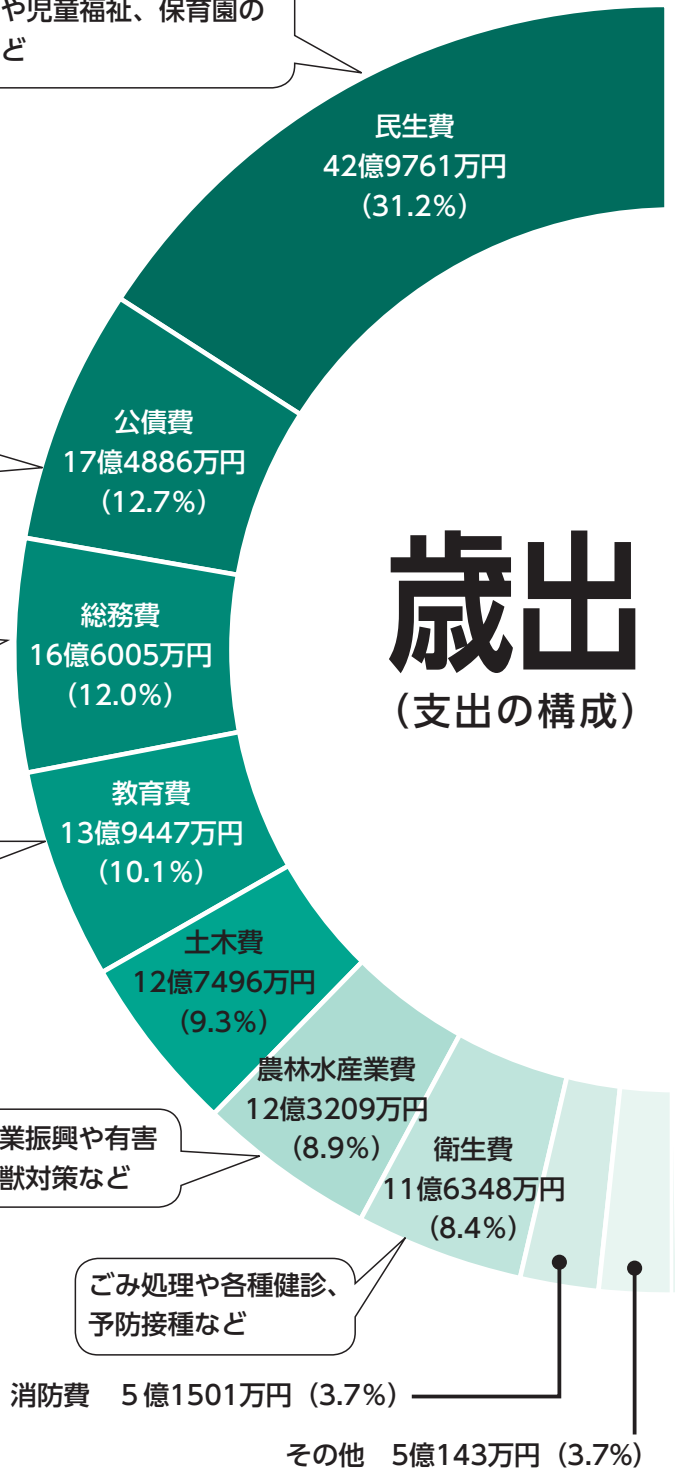
▲宿泊体験交流施設の整備に向けて (旧河合谷小中学校跡地)

ごみ処理や各種健診、予防接種など

消防費 5億1501万円 (3.7%)

その他 5億143万円 (3.7%)

歳出 (支出の構成)



〈内 訳〉

商工費	3億58万円
議会費	1億4858万円
労働費	2404万円
災害復旧費	2621万円
予備費	200万円

こんなことに使われます クローズアップ



平成31年度、新たに行われる事業など、一部を紹介します。



▲これまで多くの現場で活躍

購入から18年が経過し、故障が相次ぎ老朽化が目立つため、更新する。

救助工作車を更新 9518万円

石川かほく農業協同組合
新ライスセンター整備に補助金

7億2786万円

主として米の乾燥を行う施設で、効率的な施設利用や運営コストの低減を図ることとしている。
国から県・町を通して補助金6億7500万円が交付され、これに加える町の補助金負担は5286万円となる。



▲新ライスセンター建設予定地（舟橋地内）

産後ケアを実施

14万円

石川中央都市圏の事業で、家族から十分な家事や育児などの支援を受けることが難しく、かつ心身の疲労が著しい方で、産後4か月未満の産婦とその子が対象となる。

デイサービス型は約6時間、宿泊型は午前9時から翌日午後3時ごろまで利用できる。

条例

国民健康保険税 賦課方式などを改正

国民健康保険財政の健全化を図るため、県の示す標準算定方式を基本に、左表のとおり賦課方式、税率などの改正を行う。

資産割が廃止され、モデル世帯（40代夫婦と子どもが2人の個人事業者世帯、夫の所得200万円、固定資産税5万円）では、年5000円の引き下げとなる。

賦課区分		改正前	改正後
医療分 (基礎課税分)	所得割	7.00%	7.12%
	資産割	10.00%	—
	均等割	2万5000円	2万8700円
	平等割	3万4000円	2万100円
後期高齢者 支援金分	所得割	2.40%	2.39%
	資産割	—	—
	均等割	1万2500円	9600円
	平等割	—	6700円
介護納付金分	所得割	1.50%	1.99%
	資産割	—	—
	均等割	1万7000円	1万200円
	平等割	—	5100円

(全員賛成)

プレミアム付

商品券を交付

4129万円



▲お問い合わせは福祉課へ

消費税引き上げに際し、経済的負担を緩和する対策で、町民税非課税の方と3歳未満の子がいる世帯の世帯主が購入できる。
2万5000円分を2万円で販売する。

2市2町共同運用 消防指令システムを更新

590万円

大規模災害に備え、19番の受付を8本から12本に増やし、外国人からの通報には3者間通話により5か国語で対応する。また、タッチパネルの採用により災害場所の特定が迅速化される。



▲緊急時に素早く対応
(金沢市消防指令センター)

津幡小学校区放課後児童クラブ 新施設を整備

2851万円



▲子どもたちの居場所に貢献

津幡小学校区放課後児童クラブ「つばたっ子スマイル」は、現在民間施設を借用し運営しているが、賃貸借契約が平成31年度までであり、入所児童も増加するため、新築整備する。

保健室登校などに対応 学校生活指導員を配置

187万円

津幡中学校に学校生活指導員を1人配置し、不登校や保健室登校の生徒への対応を中心とした学校生活のサポートを行う。



▲一人一人に合ったサポートを

人事

教育委員会教育長

(平成31年4月1日～)

任期3年

固定資産評価員

(平成31年4月1日～)



吉田 克也氏

(加賀爪)

再任



坂本 守氏

(緑が丘)

新任

(以上、全員賛成)

30年度一般会計補正予算

1億2085万円を増額 (賛成14人・反対1人) 総額136億6174万円に

30年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億2085万円を増額補正し、総額136億6174万円とした。
緊急に必要な費用のほか、事業費、負担金などの確定による増減調整が主なものである。
5特別会計、1事業会計は全員賛成で補正予算を可決した。

予算審議

ここが聞きたい！

平成31年度の一般会計と7特別会計、3事業会計は、議員全員で構成する予算決算常任委員会で審議し、数多くの質疑がありました。

その中の主なものを紹介します。

選挙投票日

町営バス無料化は必要か

-総務課-

Q 過去の選挙日当日にバスを利用した実績は。

A 平成29年度、前回の県知事選挙での利用者は42人である。

Q 期日前投票期間に無料化の考えは。

A 費用などの課題も多く調査、研究していかなくてはいけない。

Q 有権者は自宅近くの指定された投票所へ行く。あえてバスを運行する必要があるのか。

A 有権者に少しでも便宜を図り、投票を呼び掛けるものである。今後、利用効果などを検討していく。



▲投票へ行こう！

町の借入金

総額で幾らになるのか

-企画財政課-

Q 借入金はどこから借りているのか。

A 政府系資金のほか、町指定の金融機関から見積もりをとり、基本的に金利の低いところから借りている。

Q 一般会計・特別会計・事業会計を合わせた借入金の総額は。

A 平成30年度末の見込みで、約311億円となる。

障害児発達支援給付費

増額の理由は

-福祉課-

Q 平成30年度に比べて予算が約1200万円増額となっているが、なぜか。

A 支援サービスが充実し、放課後児童デイサービスの1人当たりの利用量が増えたことによる。

洪水ハザードマップの

修正理由は

-総務課-

Q 修正理由は。

A 水防法の改正に伴い、想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域と浸水深が公表されるため、当町の洪水ハザードマップに反映させる。

Q 今回修正したものが町民に配付される時期は。

A 想定区域の公表が夏の予定であり、それを踏まえての作成となるので、早くても31年度の後半となる。



健康教室や

がん検診の実績は

-健康推進課-



▲食生活で健康に

Q 健康教室の実績は。
A 平成30年度は4回実施している。腎臓病予防教室では、170人の参加があった。

Q がん検診後の精密検査の受診率は。
A 当町の精密検査受診率は91・3%で、県内でも高いほうである。精密検査の対象者に対して訪問や電話で受診勧奨を行っている。

がん検診後の精密検査の受診率は。当町の精密検査受診率は91・3%で、県内でも高いほうである。精密検査の対象者に対して訪問や電話で受診勧奨を行っている。

町道庄能瀬線修復区間は

いつ完成するのか

-都市建設課-



▲着実な工事を

Q 今後の工事の予定は。
A 残り250mの工事内容を見直し、平成31年度に完了予定である。

Q 見直し内容は。
A 英田小学校側に道路線形を移動し、また勾配や幅員などを見直す計画としている。

子育て支援アプリは

利用されているか

-子育て支援課-

Q 広域版子育て支援アプリで得られる情報は。
A 各市町の施設情報や親子が参加できるイベントを検索することができるほか、予防接種などのスケジュール管理ができる。

Q 運用から2年目となるが、当町の実績は。
A 平成30年11月末では276件の利用で、利用者数は伸びている。

危険空家除却等支援補助金

利用申請はあったか

-生活環境課-



▲地域の環境整備を

Q 利用申請の状況は。
A 津幡、井上、英田、俱利伽羅地区からの計4件ある。

Q 申請内容は。
A 2件はポケットパーク等への整備で各50万円、残りの2件は除却のみで各30万円の補助となる。

語学指導協力員を増員

英語授業への対応は

-学校教育課-



▲Let's enjoy English

Q 語学指導員を1人増員し、ALT（外国語指導助手）とあわせて5人配置となるが、小学校で英語の授業時数が増加することに対応できるのか。
A 授業時数を計算しての配置であり、教員との連携によりすべての小学校で可能となると考えている。

遠距離通学児童生徒への

補助内容は

-学校教育課-

Q バス定期券購入補助金はどれくらい支給されるのか。
A 小学校は全額を補助している。中学校は自転車通学者との兼ね合いもあり、年額1万5000円を超えた分を補助している。



▲今日も元気にバス通学

バス定期券購入補助金はどれくらい支給されるのか。小学校は全額を補助している。中学校は自転車通学者との兼ね合いもあり、年額1万5000円を超えた分を補助している。

陳情1件を審査

3月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。

採択 町道認定編入方請願について

◎請願者

太田区長

紹介議員

南 正幸
洲崎 正昭
(全員賛成)

申請道路

起点 太田は31番1 地先
終点 太田は171番1 地先

採択 妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める

◎請願者

公明党津幡支部津幡地区委員

紹介議員

高谷 芳明
道下 政博
(全員賛成)

採択された1件の請願は
意見書を内閣総理大臣ほか
関係機関に送付しました

不採択となった請願・陳情

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の
主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米
地位協定の見直しを国に求める

◎陳情者 日米地位協定を見直す会

共同代表 難波希美子
(賛成2人・反対13人)



自治体に地方自治権を取り戻す道である
全国知事会が米軍基地に係る研究会を設置し会合
を重ね、共通理解を深めた上で提言をまとめたこと
は尊敬に値する。国の主権と地方自治権を取り戻す
べく提言を支持すべきだ。

塩谷 道子 議員



陳情内容は全国知事会の主旨とは異なる
交付金によって財政が潤沢な基地県もあり、提言
に対する温度差があるようだ。米軍基地は安全保障
の関係から国の問題であり、係る陳情は全国知事会
による提言主旨と異なる。

八十嶋孝司 議員



行き過ぎた考え方だ
提言には、地位協定の抜本的見直しと、施設ごと
に必要性や使用状況等を点検した上で基地の整理・
縮小・返還を積極的に促進することが含まれている
が、行き過ぎた考え方だ。

道下 政博 議員

国に国保への国庫負担増を求める

◎請願者 石川県社会保障推進協議会

代表委員 松浦 健伸
紹介議員 塩谷 道子
(賛成3人・反対12人)

せめて協会けんぽ並みに引き下げてほしい

賛成
均等割が適用される国保では、特に多子世帯の保険料が高額となり得る。協会けんぽ並みに引き下げることを国に要望すべきだ。
塩谷 道子 議員

反対
財源の裏づけが考慮されていない
国庫負担増に対する財政措置が考慮されていない。財源を無視し、社会保障の充実だけを要望することには賛同しかねる。
道下 政博 議員

75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを求める

◎請願者 石川県社会保障推進協議会

代表委員 松浦 健伸
紹介議員 塩谷 道子
(賛成5人・反対10人)

長生きしてよかったと言える国に

賛成
年金が減らされる中での医療費2割負担は、高齢者の命を縮める。長生きしてよかったと言える国にすることが使命である。
塩谷 道子 議員

反対
時期尚早である
経済財政諮問会議などで議論されている最中だ。厚生労働省で議論が始められる段階での意見書提出は時期尚早である。
道下 政博 議員

主要農作物種子法の復活等をもとめる

◎請願者 農民運動石川県連合会

会長 宮岸 美則
紹介議員 塩谷 道子
(賛成1人・反対14人)

食の安全や日本の農業を守るために必要だ

賛成
改良種子に対する特許料の問題、外資系企業の参入による遺伝子組み換え品種の流通など、食の安全が脅かされる。
塩谷 道子 議員

反対
種子法の復活は必要ない
遺伝子組み換えは食品衛生法の安全性審査で規制されている。種子法を廃止した今後も、遺伝子組み換えや外資系企業の参入に係る規制は全く変わらない。
道下 政博 議員

請願と陳情の違いは？

請願・陳情は、町民と町議会を直接つなぎ、参政権の一つとして大切な手段であり、町政・その他の執行機関に意見や希望があるときは、誰でも提出することができますが、次のような違いがあります。

〈請願〉

請願には紹介議員の署名または記名押印が必要です。提出された請願は、委員会審査の上、本会議に諮って採否を決め、町政・その他の執行機関に要請されます。

〈陳情〉

陳情には紹介議員がいりません。提出された陳情は全議員に配付され、特に議長が必要と認めるものは議会運営委員会に諮り、請願の取り扱いに準じて処理されます。

委員会レポート

各常任委員会で行った町内視察を報告します。

町道認定現地調査



▲町道認定地（能瀬地内）

総務産業建設

常任委員会

議案として提出された能瀬地内と請願として提出された太田地内のそれぞれの道路を現地視察した。

○能瀬地内
（始点 能瀬二
13番3地先
終点 能瀬二
12番6地先）

○太田地内
（始点 太田は
31番1地先
終点 太田は
171番1地先）

文教福祉

常任委員会

河北中央病院事業と 児童福祉施設を視察



▲新設された しいのきこども園

河北中央病院
河北中央病院が果たすべき役割は、健康寿命の延伸を図ることである。働き盛りの中高年へは生活習慣病・メタボ対策・がん検診などを、高齢者へは介護予防・ロコモ対策などをアプローチすることである。元氣な高齢者として互いに助け合い、

**条南小学校校区
放課後児童クラブ**
条南小学校敷地内に整備され、3月20日に完成し、4月に開設する。利用定員は40名、鉄骨平屋建てで、町内16施設目の放課後児童クラブとなる。

中条南保育園
3月4日から新園舎に移動し、4月1日からしいのきこども園として民営化になる。
町内では民営として5施設目の幼保連携型認定こども園で、利用定員は180名、鉄骨2階建ての施設である。

安心して暮らせる地域医療を目指すとのことであった。
住み慣れた町で元気に暮らすために、これからも河北中央病院の役割は大きいと感じた。

討論

私はこう考える

平成31年度一般会計予算



反対

町民の願いを実現するために税金を使うべき
 安本法制の成立により自衛隊員の命が危険
 にさらされることになるので、募集に手を貸
 すべきではない。また、町道庄能瀬線と町道
 竹橋大坪線道路改良事業は必要ではないので
 反対する。

塩谷 道子 議員



賛成

経費の抑制、効率化を図り、必要度に応じた
 予算
 計画決定事業を中心とした緊急度の高い事
 業や「住んでよかったと実感できる町」の実
 現に向けた予算計上となっている。町債発行
 額もシーリング内である。

八十嶋孝司 議員

3月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議案 請願 陳情	議席番号	議決結果 (件名は一部省略しています)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			森川章	竹内竜也	井上新太郎	八十嶋孝司	西村稔	荒井克	森山時夫	角井外喜雄	酒井義光	塩谷道子	多賀吉一	向正則	道下政博	谷口正一	洲崎正昭	河上孝夫
議案	31年度一般会計予算…平成31年度当初予算で137億8800万円を計上する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	○
	30年度一般会計補正予算(第8号)…各種事業の実績見込みにより増減調整を行い、1億2085万円を増額する。	可決 賛14・反1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○
請願	主要農作物種子法の復活等をもとめる	不採択 賛1・反14	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	-	×	×	×	×	×
	国に国保への国庫負担増を求める	不採択 賛3・反12	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	-	×	×	×	×	×
	75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求める	不採択 賛5・反10	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	-	×	×	×	×	×
陳情	地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める	不採択 賛2・反13	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	-	×	×	×	×	×

※議長は採決に加わらないため「-」で表示

問う

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。



八十嶋孝司 議員

児童虐待

対応を示せ

早期発見・

早期対応に努める

八十嶋 議員

平成30年の東京都目黒区5歳児虐待、31年1月の千葉県野田市小学4年生女子児童虐待と相次ぐ悲惨な事件が起きている。いずれも未然に防止できなかったのではと関係機関の対応が問われている。

教育委員会では、今後学校と連携しながら虐待の早期発見に努めるとともに、関係機関と情報を共有し、児童生徒の安全確保を最優先とした対応をする。

吉田 教育長

小倉 町民福祉部長

過去3か年の虐待件数は計145件である。虐待の種別は、暴言などの心理的虐待が多い。

町では、要保護児童対策地域協議会が中心となり、適切な対応と支援を行っている。さらに、金沢弁護士会と法的支援に関する協定を締結する予定になっており、迅速で適切な対応が可能になると考えている。



▶子ども虐待防止のシンボルマーク

再開の時期は

平成31年4月に
リニューアルオープンする

三国山キャンプ場



▲待ち遠しいキャンプシーズン

八十嶋 議員

平成27年に地滑りにより休園となった県森林公園三国山キャンプ場の修復に、当時は約2年かかると報告された。県森林公園は町長の思いも強く早期の復旧が望まれていたが、修復も完了したと聞く。

リニューアルしたキャンプ場の再開時期は。

矢田 町長

平成30年第3回県議会定例会で、31年4月のオープンを目指しているとの報告があった。

キャンプ場のリフレッシュ工事として、地滑りで損傷した施設の修繕や給水施設の改修、ログハウスのエアコン設置、女性専用シャワー棟の新設なども行った。

リニューアルオープンによりにぎわいの創出に期待でき、当町の活性化につなげていきたい。

その他の質問

Q 町長の新年度への意気込みは。

A 未来の津幡町へ向けてスタート元年と位置づけ、政策を実現する。

Q 保育料無償化に伴う給食費の負担は。

A 現在の負担バランスを維持する。



竹内 竜也 議員



町政を

方向性を示せ

大きく変更する予定はない

土曜学習事業

竹内 議員

平成27年度から当町で実施されてきた土曜授業を、31年度から廃止することが決定した。土曜授業は廃止となるが、町教育振興基本計画に掲げる目標を推進するに当たり、今後の土曜学習事業の方向性を示せ。また、学校の関わりは想定されているのか。



◀地域とともに学ぶ (井上子ども教室)

吉田 教育長

土曜学習事業は、土曜日の子どもたちの受け皿としてスタートした事業で、地域の方や石川高専企業などの幅広い協力を得て着実に定着してきており、今のところ大きく変更する予定はない。しかし、社会情勢の変化に対応しつつ、講座の見直しなどは毎年行っていきたい。また学校の関与は、講師や協力者として一部教職員の参加、協力などを引き続きお願いする。

広域連携

取り組むべき分野は

新技術の研究を進める

竹内 議員

当町を含む4市2町による石川中央都市圏連携協約のもと、連携中枢都市である金沢市を中心に広い分野で取り組みが進む。

町長は3期目の町政運営に向けた所信として、

町民の暮らし向上につながるよう、さまざまな分野で広域連携の検討を進めたいと言及している。さらに進むであろう広域連携に対する所見と、喫緊の課題として取り組むべき分野は。

矢田 町長

広域連携は、住民ニーズが多様化・高度化する一方で、人口減少・少子高齢化が進行する社会の中で自治体の特色や魅力を生かしつつ、業務の効率化と住民サービスの向上を図り、持続可能な行政運営を推進するための現実的で実効性のある方策の一つであると考えている。喫緊の課題としては、AI（人工知能）等の新技術の研究や観光で連携を図っていく。



▲広がる広域連携

その他の質問

Q 町営バスの最終発車時刻を繰り下げよ。
A コスト面も含め研究する。



塩谷道子 議員

地域の要望

素早く対応せよ

早急な対応に努めている

塩谷 議員

生活環境で不便や危険を感じているところとして、街灯が少なく、中学生が部活後帰宅する時間帯は危ない、カーブミラーが壊れている、バス停に屋根がないのでお年寄りが待っているのを見ると気になるなど、多くの要望が寄せられた。身近な地域の要望には素早く対応せよ。

岩本 産業建設部長

街灯やカーブミラー、道路などへの意見は、地元区長をはじめ、皆さまからいただいた情報をもとに、迅速かつ適切な対応を行っている。すべての要望をすぐに解決できるわけではないが、身近な要望として緊急性の高い案件には、担当部署で受け付け、早急に対応していく。



▲転落防止対策が望まれる

外出支援策を

調査、研究を重ねていく

高齢者

塩谷 議員

高齢者から運転免許証返還後の町営バス利用に不安を感じているという意見を多く聞く。バスの車種変更、バス停や便数の増加、町内運賃均一化、町営バスと福祉バスの一本化など、改善できないか。また、いきいきサロンへの送迎対策を望む声もある。高齢者への外出支援策を。



▲バス利用が便利になるように

吉岡 交流経済課長

町営バスは重要な交通手段であることは認識しているが、コストパフォーマンスを考慮しながら調査、研究を重ねていく。

中村 福祉課長

いきいきサロンへの送迎体制の対策と援助には、それぞれの地域課題にあった介護予防活動事業の中で外出支援に取り組んでいる。

その他の質問

Q 国保税の子どもの均等割を半額にせよ。

A 考えていない。

Q 自衛隊への名簿提出は慎重に行え。

A 情報提供のあり方や方法を慎重に対応する。

Q 虐待事案の相談・支援体制は十分か。

A 現体制で取り組む。



西村 稔 議員

観光誘致

現状と成果は

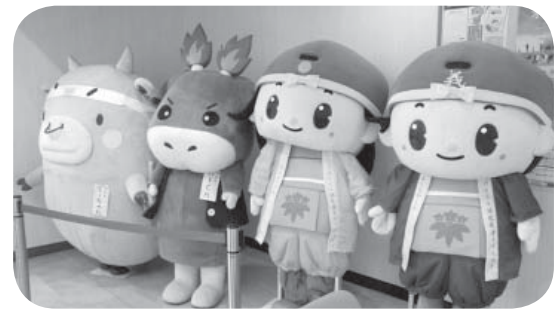
順調に進んでいる

西村 議員
当町への観光客は、どこにどのくらい訪れているのか。町の観光誘致は順調に進んでいるのか、現状と成果を問う。

西村 議員

吉岡 交流経済課長

町の主要な観光施設、宿泊施設等の入り込み客数調査で、俱利伽羅山開山1300年に当たる平成30年は約90万人となっており、観光PRの取り組みは順調に進んでいると考える。
今後、豊かな自然や歴史あふれる観光施策を進めていく。



PRなららせてね

民生委員

待遇を改善せよ

民生委員法で規定されている

西村 議員

高齢化社会は当町でも今後ますます増大し、民生委員の負担が増加している。民生委員の中には70歳を過ぎても健康で活躍している方もいるが、後継者不足に悩んでいるのも事実である。待遇も含めた問題の改善に取り組む。

矢田 町長

町担当課で候補者に関する相談に応じたり、地域に向いて説明を行うなど、委員の確保に努めている。
民生委員法で給与を支給しないことが規定されているが、国から委員活動費として、1人につき年額5万9000円の費用弁償が支給されている。また、町単独で町民生児童委員協議会に地域活動の活性化などに対し300万円余りの予算を計上し、円滑に活動できる環境づくりに努めている。



▲住民のそばには民生委員



道下政博 議員

通報システム

LINEを活用せよ

導入を研究していく

道下 議員

兵庫県芦屋市では、道路や公園の不具合を見つけた場合、LINEを活用して市に通報できるシステムを導入している。現場の写真や位置情報も送られてくるのでスピードに現場に急行できるなど、メリットが多いと聞く。

現在、担当職員間ではLINEを利用して不具合箇所の情報共有を図っており、大いに活用している。

LINEなどの画像送信ができるアプリは効果的であると考え、通報システムの導入に当たっては、受信する役場の担当窓口や受信時間帯、通報者の安全対策、個人情報管理など課題が想定されるため、先進事例を参考にしながら導入を研究していく。

※LINE（ライン）
スマートフォンなど携帯電話やパソコンで利用できるコミュニケーションアプリ。

矢田 町長

さらなる強化を図れ

語学指導協力員を増員する

英語教育



▲滋賀県竜王町での楽しい英語の授業
(文教福祉常任委員会視察)

道下 議員

英語教育では、小学校から中学校に上がる段階で英語嫌いな子が多く誕生することが問題となっている。初めて英語を学ぶ年代での環境づくりが大切である。

英語専科教員の採用など、さらなる強力な取り組みに期待する。

吉田 教育長

2020年度から完全実施となる小学校英語の教科化に向け、当町では1年前倒しで平成31年度から英語授業を始める。

さらに、語学指導協力員を1人増員してALT（外国語指導助手）とあわせて計5人体制とし、担任または専科教員との連携により授業を実施する。

外国語担当者の研修を引き続き実施し、デジタル英語教材などを活用した授業の研究も進めていく。

その他の質問

Q 乳幼児健診で小児がんの早期発見を。

A 専門医の意見を踏まえ取り組む。



森山時夫 議員

県森林公園外周に設置せよ

現在の緩衝帯や電気柵で取り組む

獣防護柵

森山 議員

イノシシの農作物被害は年々拡大しており、狩猟や捕獲おりなどでも追いつかない状態である。町の中心部には全面狩猟禁止の県森林公園があり、そこをすみかに活動するイノシシも多い。少しでも被害を減少させるため、県森林公園外周に獣防護柵の設置を県に要望せよ。



矢田 町長

県森林公園外周に獣進入防護柵の設置は有効な手段ではあるが、費用は相当な額と見込まれる。効果的な方法が発明・発見できるまでは、現在実施している県森林公園と農地の間に緩衝帯を設けることや、電気柵の使用等により農作物被害を減らすことができると考えている。

笠野トンネル

トンネル内の照明を見直せ

対策を講じるよう要望する

森山 議員

県道筋谷津幡線にある笠野トンネルは、直線ではなく曲線になっているため、中心付近でやっと出口が見える。うち常時点灯しているのは20基ほどで、トンネル内は非常に暗く危険を感じる。点灯を増やすよう関係機関に要望せよ。

岩本 産業建設部長

トンネル照明の設置は設計基準に基づいており、笠野トンネルもこの基準により設置されている。夜間22基、昼間は61基が点灯しているが、道路線形が曲がっているため視界が悪く、運転しづらい状況である。県に対し調査の実施を求め、対策を講じるよう要望する。



▲事故が起きないように

その他の質問

Q 県道筋谷津幡線倉見地内の危険区域の路線変更を。

A 県道の位置変更は難しい。



森川 章 議員

温水プール

必要性を問う

町の福祉向上の

一翼を担う

森川 議員

温水プールは、町民の多くの方々が必要と希望した施設ではあるが、計画の立案からかなりの時がたち、町民からは近隣市町のプール施設を利用すればよいとの声も聞く。温水プールを建設する必要性を問う。

矢田 町長

温水プールは、町民の要望の強い施設である。誰もが利用できる、町民の身近にある、健康増進体力づくりができるプールとして計画を進めてきており、町民の健康的な生活習慣づくりを支援するとともに、町の福祉向上の一翼を担うと期待している。



▶利用者が多い内灘町屋内温水プール

子どもを増やす政策を図れ

少子化

各種施策に
取り組んでいる



▲子どもに人気の広場がいっぱい

森川 議員

少子化が進む中、平成30年の当町の出生人数は300人以下であった。若い世代が住み、結婚し、安心して出産できる環境や政策を打ち出していくべきと考える。今までの定住促進に関する補助事業だけでなく、多くの町内外の若い世代に当町の魅力を伝え、子どもを増やす政策を図れ。

矢田 町長

当町では、若い世代の希望を叶える環境整備として、子育て支援施設や医療機関の充実、鉄道交通や買い物物の利便性を高めるなど、各種施策に取り組んでいる。

今後、子育て世代の目線から当町の強みや魅力を新たに掘り下げ、町ホームページや首都圏での移住フェアなど、さまざまな媒体や機会を捉えてPRしていく。

その他の質問

Q 社会教育委員を社会教育関係者から幅広く活用せよ。

A 委員改選時に検討していきたい。



角井外喜雄 議員

相談窓口を開設せよ

必要性を検討していく

外国人労働者

角井 議員

現在、町内に登録されている外国人労働者は何人か。また、これまで税金の滞納や不納欠損はあったのか。

今後とも外国人労働者が増加すると予想されるが、地域とのトラブル、子どもの教育など、さまざまな問題に対する相談窓口の開設が必要ではないか。

外国人労働者との共生は



石庫 総務部長

外国人労働者は、中国が79人、ベトナム60人、フィリピン34人の順となつている。また、現在までに課税された外国人には滞納者もあり、過年度に不納欠損を行ったこともある。

現在、外国人の相談窓口は、国際交流事業とあわせて生涯教育課で行っている。今後、外国人労働者の相談窓口の必要性を検討していく。

空き家バンク

登録促進に取り組み

制度の周知を行っていく

角井 議員

当町の空き家バンクの登録物件は少なく、制度の広報活動など積極的な取り組みが足りないのではないか。

また、ホームページの情報シートは基本事項のみであり、重要な内観が分からない。利用者に丁寧な情報公開をせよ。

納口 企画財政課長

当町の空き家バンク登録が進まない要因は、他市町と比べ空き家率が低いことと、物件に登記の不備が多いことが考えられる。

現在、空き家バンクへの登録促進策として、広告掲載や町区長会総会、広報紙などで制度の周知と登録の働きかけを行っている。

登録物件の詳細情報は、防犯面から情報を制限しているが、対象物件の閲覧申し込み者には個別に開示している。



▲買い手を求む空き家



河上孝夫 議員

温水プール

基本設計は

指定管理予定者などの
意見を取り入れる

河上 議員

メインプールの設置は
スイミングスクールを取り
入れたものにするのか。
また、運営管理は指定管
理者に任せるのか。利用
者、学識経験者の意見を
反映し、基本設計の策定
に当たってほしい。

住吉公園にある築山は
現状維持か、フラットに
するのか。駐車場は何台
ほど計画しているのか。



▶整備される住吉公園

矢田 町長

平成31年度から国の交
付金を活用した5か年計
画で、温水プールを含め
た住吉公園の整備を進め
ていく。また、基本設計
の中で指定管理者を選定
し、スイミングスクールの
設置など、プールの設
備を検討していく。
築山は防犯上フラット
に整備し、駐車台数は1
30台程度と考えている。
指定管理予定者などか
らの意見を取り入れなが
ら進めていく。

上富田町への 派遣費を見直せ

妥当な額と考える

スポーツ交流



▲交流を深める少年野球チーム

河上 議員

和歌山県上富田町との
小学生スポーツ交流では、
野球、サッカー、陸上
受け入れ可能とされ、他
のスポーツ競技は参加で
きないのが現状である。
町からの補助は交通費
のみで40万円が限度だが、
宿泊費の上限を決め、補
助対象とすべきである。
町の考えは。

矢田 町長

上富田町とのスポーツ
交流は、平成27年度から
行ってきた。31年度は、
当町ジュニアスポーツク
ラブなどに参加の呼び掛
けを行ったが、上富田町
側の受け入れ可能なクラ
ブは3競技に限るとのこ
とである。

また、補助限度額40万
円は、旅行会社からのバ
ス借上料相当額を設定し
たものであり、宿泊費は、
他の派遣費補助事業との
均衡を図る上から、参加
者負担が妥当であると考
える。

その他の質問

Q 児童虐待防止で町が
連携する機関は。

A 教育委員会、児童相
談所、医療機関、警
察などである。



洲崎正昭 議員

東口整備の今後は

早期の整備に向け 要望活動を実施する

津幡駅

洲崎 議員

平成30年5月22日にI R津幡駅東口の期成同盟会が設立されたが、その後動きがなく、状況が分からない。
この件についてI Rいしかわ鉄道ではどのように捉えているのか。また、町としては今後どう進めていくのか。

I R津幡駅東口の整備は、平成30年7月に町担当者が公式にI Rいしかわ鉄道を訪問し、駅西側と東側を結ぶ自由通路案を提示した。I R側も東口計画は承知しており、今後も協議を行っていく。駅東口整備促進期成同盟会は、30年度は調査研究と情報収集を進めており、31年度は早期の整備に向け、正式に国、県、I Rへ要望活動を実施したいと考えている。



◀待ち望まれる東口

矢田 町長

南中条西交差点

変形交差点を改良せよ

実施に向け調査、検討していく

洲崎 議員

J A石川かほくの中条ライスセンター前にある南中条西交差点は変形交差点で、通行が危険である。

しかし、道路沿いにあるJ Aの施設の廃止や用途の再検討が行われていると聞いているので、この際J Aから用地を購入して交差点の改良をすべきではないか。町の考えは。

岩本 産業建設部長

J A石川かほくが給油施設の廃止や常温倉庫の見直しを検討していること、本交差点の改良にあわせて町道南中条12号線の拡幅を実施することは、町としていい機会であると捉えている。

今後の交差点改良事業計画は、国の補助制度の動向を注視しながら、実施に向けて調査、検討していく。



▲早い整備を

その他の質問

Q 町の南部地区に体育館を建設せよ。
A 考えていない。



荒井 克 議員

児童福祉施設

防犯対策を強化せよ

非常通報装置を

整備する

荒井 議員

子どもを狙った痛ましい犯罪が全国各地で発生している。

当町の小中学校では、玄関扉の自動施錠対策が図られたが、放課後児童クラブなど児童福祉施設には、防犯・安全対策が十分確保できていない。早急な対策を図れ。

矢田 町長

当町では、児童福祉施設の防犯対策について費用対効果を検証し、現時点では、緊急非常時に警察へ直接通報できる非常通報装置の設置が最善であると考えている。この装置は通報ボタンを押すことにより、警察官が駆けつけることになっている。



▶子どもたちの安全を願って(つばたつ子)

知度塚・津幡城跡のさらなる管理・PRを

ストーリー性のある活用を考える

観光資源



▲歴史ある津幡城跡

荒井 議員

源平倶利伽羅合戦で敗北した平家軍にまつわる場所が町内に点在している。平谷の集落入り口には平知度(たいらののともりのり)の首塚があり、津幡小学校旧校舎跡地には平維盛(たいらのこれもり)軍が布陣したと言われる津幡城跡がある。

源平合戦後も戦いの拠点などとなり、廃城までに約400年もの歴史が刻まれてきた。

今後、観光客誘致に積極的にPRせよ。

矢田 町長

津幡城跡と平知度首塚は、町の重要な資源の一つと捉えている。しかし、津幡城は遺構がほとんど残っていない状況であり、知度の首塚も石碑などが明治期のもので、単体としてその価値を全面に出した観光推進活動には厳しいものがある。

そこで、こうした文化財を大きなまとまりの中に位置づけ、他の観光資源も結びつけて、ストーリー性のある活用を考え、当町の魅力の向上を図っていききたい。

追跡 あの質問のゆくえ

これまでに行われた質問や提言がその後どう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。



▲解体でご近所さんも安心

危険空き家解体に対する補助制度の策定を 平成30年3月会議 角井外喜雄議員

町危険空家等対策計画案が示され、解体費用の一部を所有者に助成すると説明があった。諸事情で解体が困難な場合、民間事業者を含めた解体費用の補助制度を創設し、行政が中心となり、跡地利用も含めた計画を策定せよ。

答 弁

先進自治体を参考に制定を目指す

経済的な理由で所有者が解体費用を出せない場合、地元区と跡地の有効利用について協議し、解決策の助言ができないか考えている。解体費用に関する補助制度は、先進自治体を参考に制定を目指していく。

その後

町危険空家除却等支援補助金交付要綱を制定

定住促進や地域活性化、町民の安全確保、環境保全などを目的に、町危険空家除却等支援補助金交付要綱を制定した。地域活性化に役立てるための空き家の改修や、危険空き家を取り壊すもの、またその跡地をポケットパーク等に活用するものなどが補助対象となる。

中学部活動土日休養日の考えは 平成29年12月会議 八十嶋孝司議員

教員の働き方改革が叫ばれている中、文部科学省は平成29年1月、教育委員会に土日の休養日の取り組みについて通知を出している。現場からは、運動部活動での負担軽減を望む声が高いと聞く。町にある2中学校の取り組みと責任ある教育委員会の考えを示せ。

答 弁

月に2回以上設けている

平成29年度、部活動の休養日は週1日以上、月2回以上は土曜日または日曜日に設けている。教職員の負担軽減とともに、生徒の心身の健康保持、けがや故障の防止、学習時間の確保の観点から、さらに適切な休養日の設定が必要であると考えている。

その後

休養日を週2日に

平成30年度から中学校部活動の休養日を原則、水・日曜日の週2日に設定した。夏休みなどの期間中も同様であり、加えてまとまった長期の休養期間を設けることとした。



津幡町議会HP

議会の会議録は町議会ホームページで見ることができます。

1月会議

一般会計
補正予算

1364万円を可決 (全員賛成)

一般会計総額135億4089万円に

快適になる福祉空間



▲冷暖房が整備されたグループホームつつじ

1月18日に1月会議を開催し、一般会計・特別会計補正予算、請負契約締結の議案3件が上程された。議案は、各常任委員会審議を経て可決した。

○地域介護・福祉空間整備事業費

324万円

町内グループホーム事業所の冷暖房の老朽化に伴う整備事業に対する補助金。

○延払機械設備貸与事業資金貸付金

1040万円

新たに1件の町内事業者が県鉄工機電協会からの延払いによる設備投資を受けることに対する貸付金。

特別会計

○バス事業特別会計

(債務負担行為)

2602万円

老朽化により故障した中型の町営バス車両を小型車両に更新するためのバス購入費。

(全員賛成)

※債務負担行為

予算の内容の一部として契約等で発生する将来の一定期間、一定限度の支出負担枠を設定すること。

請負契約の締結

○町道竹橋大坪線道路改良工事(その3)(道整備)

1億2471万円



反対

町道竹橋大坪線の道路改良工事は税金の無駄遣いである。将来に禍根を残すことがないためにも、町民への説明もはっきり行い、意見も聞くべきである。

塩谷 道子 議員

(賛成13人・反対2人)

1月会議の審議結果

(賛否の分かれたもののみを掲載しています)

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退 除斥…除

議案	議決結果	議席番号															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
請負契約の締結(町道竹橋大坪線道路改良工事(その3)(道整備))…体験型観光交流公園へのアクセス道路を整備する。	可決 賛13・反2	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○

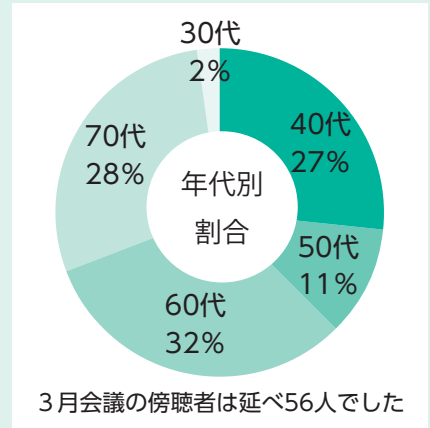
※議長は採決に加わらないため「-」で表示

議会を傍聴しましょう

6月会議は、6月4日(火)10時からの予定です。

- 傍聴受付日時 6月4日(火) 午前8時30分～
- 定員 35人
- 受付場所 町役場3階 議場入口前

- ◎初日は、議案の提案理由の説明と町政一般質問が行われる予定です。
- ◎各常任委員会審議も傍聴することができます。
- ◎日程は変更になる可能性がありますので、詳しくは町議会ホームページをごらんになるか、下記までお問い合わせください。



本会議は、ケーブルテレビ(生中継・録画)やインターネット(録画)でもごらんいただけます。

お問い合わせは、議会事務局 (TEL288-6410)

スマホで議会だよりを



App Store または Google Play からダウンロードしてください。

4月29日に県森林公園緑化の広場で行われる「県民みどりの祭典」で町議会県森林公園活性化対策特別委員会は、千成・大ヒョウタンのほか、ゴイヤ、サルビア、ペゴニアなど合計840鉢を10時30分から配布しますので、ぜひご来場ください。

4/29

県民みどりの祭典で
ゴイヤ、
ヒョウタン苗など
840鉢
無料配布

議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀（本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く）
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります
各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

みんなで楽しくやってみます!!

サークル紹介第38回

刈安大正琴教室

楽しく集って弾いています



私たちが琴城流大正琴刈安教室は、平成9年にJA寺尾出張所でスタートし、14年2月に刈安コミュニティプラザの竣工とともに活動の場を移し現在に至っており、22年たちます。会員6名と小規模ですが、優しい音色から紡ぎだされる音楽表現に心癒やされ、生涯教育の場として練習日には演奏はもちろん、それぞれの近況健康、食事等々豊富な話題で交流の場となっております。会員が少ない現在の活動は、地元寺尾まつり、サロンなどです。

会員 河内 七生

大正琴の楽譜は数字譜なので、音符が読めなくても演奏でき、左右の指先を使うので脳の活性化にもなります。とても入りやすい楽器なので、趣味として興味を持たれる方をお待ちしています。

◆活動場所と時間
刈安コミュニティプラザ
第2・4火曜日
9時30分～11時30分

◆連絡先
288-1447 (西村)

表紙の題字は

条南小学校6年
大高 千聖さんの作品です。

条南小学校のみんなはとてもやさしくみんな仲がよいです。1年に一度、縦割りグループで行う「仲良しウオークラリー」では、1年生から6年生が協力したり助け合ったりしてお店を開き、全校で楽しんでいます。私はそんな条南小学校が大好きです。



表紙の風景

3月14日、萩野台小学校で卒業式が行われ、6年生10人が巣立ちました。



議会広報調査特別委員会

- 編集委員長 荒井 克
- 副委員長 八十嶋孝司
- 委員 森川 章
- 竹内 竜也
- 井上新太郎
- 塩谷 道子

議会だよりの感想をお寄せください！